

ファイル3 地域発見

【現況・課題と解決の方向性(案)】

地域のことを最も知る地域が、迅速かつ柔軟に、自ら行動することが最も効率的・効果的なまちづくりにつながります。それには、情報の発信・共有が基本となります。広報の重要性がアンケートでも提起されています。

次に、まちづくりは、地域にどんな課題があるかを発見することから始まります。困ったことを放置しておいても何も解決しません。行政でも40万都市の隅々まで、市民の多様な要求に全て応えることは、財政的にも労力的にも不可能です。

地域それぞれにある「まちづくりの芽」は、困りごと、課題だけではありません。地域の文化や歴史も、まちづくりの資源です。岐阜市は多くの村が合併して今日に至っています。各地域にはそれぞれの歴史と文化があります。そんな財産を再発見することも立派なまちづくりの活動です。

そんなまちづくりの芽を、その場限りで終わらせないよう、協議会やアンケート、サロンなどで提起された事案について、まちづくりの芽ファイルとして蓄積することが大切です。

また、地域の課題を発見したら、写真に撮ったり、メモしたりして、情報を持ち寄りましょう。それを、「まちづくりの芽ファイル」としてまとめて、それについてみんなで話し合しましょう。

困ったことを話し合う、地域を学ぶ・・・まちづくりの芽を発見し、解決方法や活用を探ることは、地域の特性を再認識し、地域ならではのまちづくりを進めることにつながります。

● 広報紙やホームページを まず読もう



情報の発信と蓄積

まちづくりのアンケートでは、常に情報の発信・共有の大切さが提起されます。地域の情報は、まちづくりの基本と言えるでしょう。ホームページは必要ないという意見もありますが、これだけの情報量を紙で発行するのは、経費面からも効率的ではありません。また、発信するだけでなく、情報の蓄積・継承・検索しやすいのも利点です。

● 課題を発見！

アンケートでは、写真や動画で課題を共有する活動が提起されました。危険な箇所やポイ捨てなど、気づいた点があれば、写真や地図をつけて分かりやすく提起すると話し合いですね。



岩野田北には多くの野仏が見られます

写真は粟野西の馬頭観音。鳥羽川が今より西へ弓形に流れていた頃、馬が落ちて死んだのを悲しみ、馬喰が立てたと言われます。「埋もれゆく路傍文化」(岐阜北ライオンズクラブ発刊)より



● 資源を発見！